

< あなたの治療について >



消・外 - CDGP - 食道 - q 4 w

今回の治療は、CDGP療法という治療法で、アクプラ（CDGP）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～28日目
①	グラニセトロン デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
②	アクプラ (抗がん剤)	点滴 約90分		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度20%以上）

アクプラについて

●白血球減少、ヘモグロビン減少、血小板減少

◎特徴的な副作用について

アクプラにおける

●腎障害

「顔や手足がむくむ、からだがだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る」などの症状

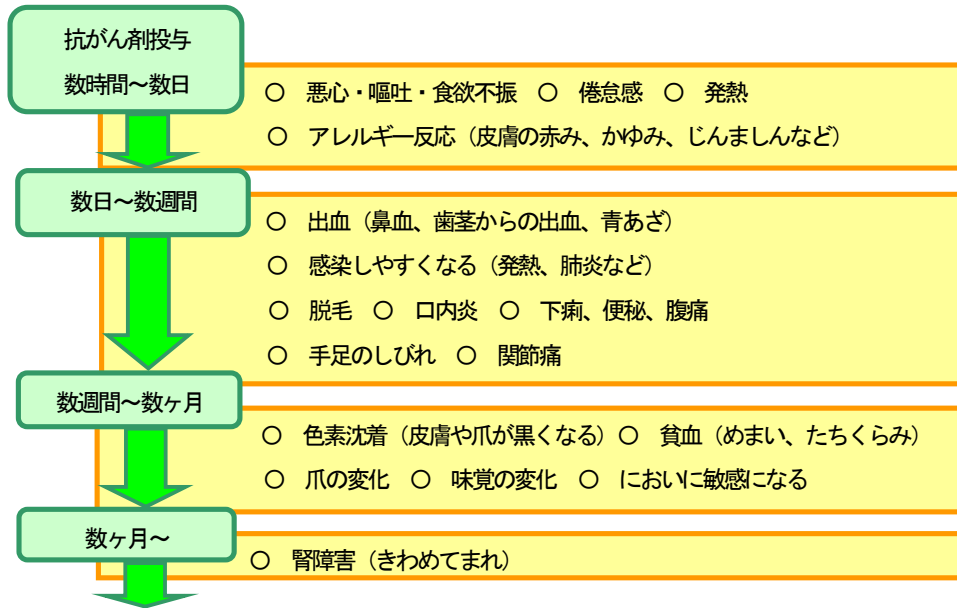
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【アクプラ】

- 〈骨髄抑制〉発熱、寒気がする、のどが痛む
- 〈腎不全〉顔や手足がむくむ、体がだるい、尿量が減る
- 〈ショック、アナフィラキシー様症状〉寒気、吐き気がする、動悸、息が苦しい、発しん、かゆみ
- 〈アダムス・ストークス発作〉めまいやぼろっとした感じ
- 〈難聴、聴力低下、耳鳴〉聞こえにくい、耳鳴り
- 〈間質性肺炎〉発熱、咳が出る、息が苦しい
- 〈抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）〉頭痛、嘔吐、めまい、全身のだるさ

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。